

Photo

出雲市鰐淵寺におけるヤマアカガエルの産卵 (2005 年)

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

筆者は 2003 年より出雲市別所町の鰐淵寺でカエル類の観察を行っている (林, 2005)。鰐淵寺で繁殖個体が多いのは、ヤマアカガエル・タゴガエル・モリアオガエルの 3 種である。ここでは、2005 年のヤマアカガエルの産卵について報告する。最初に卵塊を確認したのは 2005 年 1 月 30 日である。2004 年の初確認が 2 月 11 日だったので、調査間隔の問題はあるが、2005 年の産卵の始まりは前年よりも早かったようである。



写真 1 産卵場所の湿地 (1 月 30 日)

水深は 5cm 程度しかないが、泥は 20cm ほど堆積しており、非常に泥深い。



写真 2 抱接中のペア (1 月 30 日)

湿地中で抱接中のペアを目撃した。他に成体をみつけることはできなかった。



写真 3 ヤマアカガエルの卵塊 (1 月 30 日)

この湿地で確認された卵塊は 12 個である。卵塊は産卵後しばらく盛り上がっているが、しばらくすると平坦になる。右側の卵塊は左側よりも時間が経過していると考えられる。



写真 4 ヤマアカガエルの幼生 (3 月 6 日)

産卵が始まって 1 カ月以上が経過すると、湿地で非常に多くの幼生をみることができる。幼生の体色は、最初は黒いが、成長すると茶色に変化する。また、上陸するのは 4 月以降である。

[文献] 林 成多 (2005) 鰐淵寺におけるカエル類の観察記録 (2003-2004)。ホシザキグリーン財団研究報告, (8): 1-12.